



千葉県日独協会  
オンライン講演会

# 20世紀の中の「ドイツ人の追放」 ～中東欧の歴史に翻弄された人々～

講師：衣笠 太郎氏

日時

2024年12月14日（土）18:00～19:30（講演60分、質疑応答30分）

主催

千葉県日独協会 青壮年部ドイツ歴史研究会

場所

オンライン（Zoom）

参加費

無料

参加登録

必須（[こちらのリンク](#)または右のQRコードから）

問い合わせ

[veranstaltung.jdgc@gmail.com](mailto:veranstaltung.jdgc@gmail.com)（千葉県日独協会）



講演者紹介：衣笠 太郎（きぬがさ たろう） [researchmap / X \(@lotzun\\_DeuPol\)](#)

静岡大学人文学部社会学科を卒業後、神戸大学大学院人文学研究科修士課程、東京大学大学院総合文化研究科博士課程を修了。博士（学術）。ドイツのハレ大学、ポーランドのヴロツワフ大学に留学・研究滞在。秀明大学学校教師学部助教を経て現在神戸大学大学院国際文化学研究科講師。専門は、20世紀のシレジアにおける住民の帰属意識やナショナリズム、住民移動など。著書に『旧ドイツ領全史：「国民史」において分断されてきた「境界地域」を読み解く』（パブリブ、2020年）『ドイツ帝国の解体と「未完」の中東欧：第一次世界大戦後のオーバーシュレージエン／グルヌィシロンスク』（人文書院、2023年）など。

これまで千葉県日独協会主催オンライン講演会の講師を3度担当した（2021年「近現代の旧ドイツ領と日本」、2022年「『境界地域 Borderland』としてのエルザス＝ロートリンゲン」、2023年「旧ドイツ領の今ベルギー、デンマーク、ポーランドの国境地帯を巡って～歴史の記憶とアイデンティティの形成～」）。

2023年度日本ドイツ学会奨励賞受賞。